

＊幸せのじかん＊

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの タネまき 新聞

No.561



一口に芋煮と言っても、
味付けや材料は地域に
よってさまざま。山形では醤油ベースに
牛肉・里芋・ネギ・コンニャク・ゴボウが一般的。

芋煮会〈山形県・馬見ヶ崎川河川敷〉

東北の秋の風物詩と言えば芋煮会。家族や友人が集まって河原の石を積んでかまどを作り、大きな鍋を囲み楽しい風景があちこちで見られます。中でも、山形の馬見ヶ崎川河川敷で行われる「日本一の芋煮会」は、直径6mの鍋と大型重機を使って調理されるダイナミックな光景が見ものです。

〈お互い謙虚に〉

ダスキンでは清掃用具のレンタルやお掃除、ミスタードーナツなどのフードのお店まで多くの商品をお客様にご利用いただいています。その商品を開発するために専門的な知識を持った取引先様から原材料などを購入し、お客様により良い商品やサービスをお届けしています。

一年に一度、その取引先様にお集まりいただきダスキンの現状や考え方を説明する会を設け、多くの方と名刺交換をしながらお礼の挨拶を行います。ダスキンが創業して50年余り、創業当時はダスキンの商品がお客様に支持されるかどうかかわからない時代に「原材料を購入させてください」と取引先様にお願いに回っていたと思います。

今日では各地域でお客様とのご縁をいただき、モップやミスタードーナツをご利用いただけるようになったと同時に、多くの取引先様ともご縁をいただき、良い関係が継続できるようにになりました。そのような状況で「原材料を買ってあげている」と驕りが出ないよう気を付けなければならないと感じています。

取引先様とは対等であつて、お客様により良い商品やサービスを共に提供する良きパートナーであることを忘れてはなりません。お互いに仕事を離れれば一人の消費者でありお客様です。仕事の上でもプライベートでも周りの人に対して敬う気持ち大切に、常に謙虚でありたいと思います。

株式会社ダスキン 社長

山村輝治



日本は
ひろいな
おいしいな

しょうどしま
香川県小豆島町 中山地区

人の心を動かした

中山の千枚田



300年の歴史を持つ『農村歌舞伎』



幻想的な中山の伝統行事『虫送り』

瀬戸の穏やかな海に浮かぶ大
小の島々。のびやかなその眺めは
人々の心を和ませます。小豆島
もその景色を織り成す島の一つ。
島内を散策すると、自然と人の
営みが生み出した見事な風景が
あちらこちらに広がります。
今回はその中でもひとときわ美
しい「中山の千枚田」と共に暮ら
す人々に出会いました。

「こんなに美しいとは
知らなかった」

中山は島の山間にある小さな
集落。農村歌舞伎や秋祭りなど
の伝統行事を何百年にもわたつ
て守ってきた風土があります。傾
斜のきつい土地に何枚もの棚田を
作ってきた暮らしも、また先人が
残してくれた大切な伝統。しかし
高齢化や生産性の低さから、ここ
30年ほどで約4割が休耕地と
なっていました。

そんな状態が続いていた平成
22年、ある映画監督が美しい景観
を求めてこの地を映画の舞台に選
びました。監督が最も心惹かれて
いたのは、夏の夕刻、松明（たいまつ）を
持って棚田の周りを巡回すること
で光に虫を寄せ付け送り出す『虫
送り』という行事でした。

集落の人々は戸惑いました。そ
れは『虫送り』がもう何年も行わ
れていなかったからです。当時、自
治会長だった九野さんは言いま
す。「虫送りは10人や20人ではで
きません。断つたんやけどね、監督
が譲らんらしくて、担当者が必死
に頼みよるんです。仕方なしに周
囲の集落のみんなにも頼んで何と
か人を集めてやりました。しばらく
くして、上映された作品を見て驚
きました。自分たちの棚田はこん
なに美しいんや。虫送りはこんな
に幻想的なんやと。みんなが『守ら
なあかん』と思った瞬間でした」。

そこで、協議会を立ち上げ話し
合い、島外に棚田のオーナーを募



オーナー制度で島外からやってきた子ども達にとって田植えは、楽しく貴重な体験

香川県小豆島町
幸せな食べ物 × 幸せな風景



田植えの後は昨年みんなで作った中山の米をいただく

りました。町役場は専任の人手を
配置してくれました。香川県内の
大学生たちが自主的に『棚田の会』
というボランティア団体を立ち上
げ、水路掃除などの大変な作業を
手伝ってくれるようになりました。
棚田の再生はまだ始まったば
かり。しかし、そのうねりは確か
に集落外の人々の心をも動かし、
大きなムーブメントへと変わろう
としています。

「幸せな風景」を
紹介してくれた
みなさん

「中山棚田協議会」と
「棚田の会」のメンバー

香川県内の大学生による「棚田
の会」は、中山の美しさと地元の
人々の温かさで心動かされ発足し
たボランティア団体。毎月のように
海を渡って手伝いに来るのだそう。



オリーブオイルを使った みかんの皮おにぎりと 大根の梅和え

の作り方

小豆島は日本一オリーブの栽培が盛んな
島。そんな島のオリーブ農園「井上誠耕園」
にあるカフェ「忠左衛門」の人気メニュー
「みかんの皮おにぎり」は、オリーブオイルと
みかんの豊かな風味が新鮮な一品です。



材料（約4人前）

【みかんの皮おにぎり】
ご飯 2合
オリーブオイル ※エキストラバージン 大さじ3〜4
みかんの皮 1個分
削り節 1パック
しょうゆ 大さじ3〜4
塩 適量

【大根の梅和え】
大根 6cm
梅干し（大粒） 2個
オリーブオイル ※エキストラバージン 大さじ3
しょうゆ 大さじ1

「オリーブオイルでみかんの皮おにぎり」



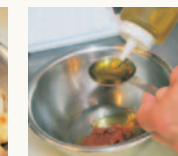
みかん1個の皮をむいてよく
洗い、10分ほど茹でる。柔らか
くなったらざるにあげ、白いわ
たの部分を取り除き、細かく
刻む。



ご飯をボウルに入れ、刻んだ
みかんの皮とオリーブオイル
大さじ3〜4、塩少々、削り節
1パック、しょうゆ大さじ3〜
4を入れ混ぜ合わせる。



よく混ぜたらお好みの大き
さに握って、できあがり。



梅干し2個はタネを取り除
き、実をつぶす。つぶした果
肉にオリーブオイル大さじ3
としょうゆ大さじ1を加え、
混ぜ合わせる。



薄いいちよう切りにした大根
を①に入れて、よく和えればで
きあがり。



カフェ「忠左衛門」
シェフ 港 晃二さん
港さん曰く、オリーブオイル
は加熱するならピュアオイル、
風味を楽しむならエキストラ
バージンを使うと良いのだそう。
小豆郡小豆島町池田2267-5
<http://www.inoueseikoen.co.jp/>

門倉多仁亜の 丁寧暮らし

第二話

美意識を 持って暮らす

日々の忙しさに流されて、「あなた自身の時間」の大切さを忘れていませんか？
なにげない日常を丁寧暮らしすることこそ、人生を有意義に過ごすコツ。シンプルでありながら豊かな暮らしふりで人気の門倉多仁亜さんと一緒に『丁寧暮らし』について考えてみませんか？

秋を迎える準備を しませんか

暦の上ではすっかり秋。夏休みの慌ただしさから解放されてホッとしている方もたくさんいらつしやることでしょう。気持ちに少し余裕ができれば、秋を迎える準備をしませんか。

今回のテーマ「美意識を持つて暮らす」とは、柔らかに言うのと「心地よく暮らす」ということだと思います。しかし、『心地よい』も人それぞれ。私は、空間も暮らし方もシンプルが好きなのですが、いろいろな飾って賑やかな方がよいという人もいます。そこでまず、それぞれの『心地よい』の見つけ方について考えてみました。

私の『心地よい』の 見つけ方

知人から「あなたの年齢なら、このブランドがいいわよ」とファッションを勧められることがあります。素敵だとは思いますが、正直なところ洋服のことはよく分からないし、次々と変わるモノについていくのはストレスです。だから、得意でも好きでもないことは追求しない。これが私の『心地よい』の見つけ方です。もちろん、若い頃は華やかな世界に憧れて覗いたこともありましたが、色々な経験をする中で、自分は何が好きなのかを考え、なぜ好きなのかを分析し、選ぶ力を身につけてきました。

選ぶ基準は何ですか

今の日本は何かを選ぶ基準が外にあることが多い。判断する時に「今は何が流行っているんだろ」「みんなはどう思うのだろう」と答えのない自問自答をする。そこに「自分が好きだから」という基準があれば、とても楽だと思います。んか？若いうちは、いろいろ試してみるのもいいでしょう。でも、ある程度の年齢になったら「私はこれが好き」と言えるよ

うにならなければ。それが美意識ではないでしょうか。

日本とドイツで育って

子どもの頃、日本、ドイツ、アメリカと転々とする中でそれぞれの文化の違いを目の当たりにして、特に感じていたのは、ドイツではそれぞれ違うことが大切なのに、日本人はみんなと一緒であろうとすること。友達との会話も、日本では、当然みんな同じ意見だと言わなければならない。誰かが「○○だよねえ」と言つて、みんなが「そうね」「そうね」と言う。ドイツでは対照的に、誰かが「私はこう思う」と言うと、みんな口々に「私は○○」と自分の意見を主張するのが普通で、それこそが大切なこと。学校だけでなく、家でも自分の意見が言えるよう教育されます。例えば、食卓を囲んで「今日はアメリカの選挙だったけど、

君はどう思う」と聞かれます。もちろん、よく分かりません。でも、誰かが言つてた何かを真似て答えることから始めて、新聞を読んだり人の話を聞いたりしながら、何とか自分の意見が言えるよう努力します。すると常に、自分はどう思うのかを考えるようになり、自分は何が好きで、何が大切なのかを見極める力も自然に身につきます。

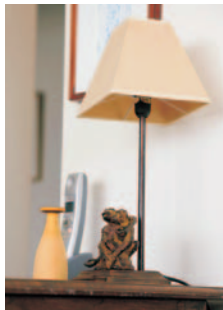
選ぶ練習をしよう

日本では「自分は何が好きなのかよく分からない」という人にしばしば出会います。それはおそらく、選ぶ練習、自分の意見を考える練習をしてこなかったからでしょう。練習は簡単です。例えばインテリア本を見て「素敵だなあ」と思ったらそこで終わらないで、どこが好きで、なぜ好きなのかを考えてみる。色が好

門倉さんが好きなモノ

実用的で キレイなモノ

夜は間接照明だけで過ごすことが多いので、ランプやキャンドルは必要。ワインが好きなのでワイングラスも必要。だから実用的なモノを買うのですが、どうせならキレイな方がいいと思います。



ひときわ目を引くおさるのスタンド



赤も白もお気に入りのアンティークのワイングラスで

門倉さんが好きなモノ

植物と絵

植物と絵は必ず飾ります。アスパラガスは観賞用としてもとても気に入っています。絵は特別なものでなくても、気に入さえすれば、雑誌の切り抜きでもフレームに入れて飾ります。



Profile

門倉 多仁亜さん（かどくら たにあ）

1966年生まれ。料理研究家。日本人の父とドイツ人の母を持つ。日本、ドイツ、アメリカなど転々と移り住み、帰国後はじめて料理教室が人気に。現在は東京を基盤に月に一度、自宅のある鹿児島へ帰る暮らしを続けている。著書に「ドイツ式心地よい住まいのつくり方」（講談社）などがある。

門倉さんが好きなモノ

自分流にアレンジ

自分流にアレンジするのは大好きです。ある時思いついて、友人のお父さまに仕切りを作っていただいて、着物簞笥をガラス入れに。お気に入りのトレーはお盆としても使いますが、サイドテーブルに置いて大きなコースターとしても活躍しています。



着物簞笥にはガラスがキレイに並んでいる



小さめの可愛いトレーは大きなコースターに



運転免許

群馬県板倉町 山本利子

あまり車に興味のないわが家の長男が、やっと免許を取りに行く気になってくれてひと安心。教室所も通いだすとスムーズに進んで、あとは免許センターでの本試験。

前橋に着いて、「はっ、メガネを忘れた!」。通常は裸眼で生活しているので、忘れてしまったのです。家から電車で2時間もかけてたどり着いたのに…。そこで彼が考えついたのは、メガネをしている方に貸してもらおうことです。なんとまあ、よくそんなことを思いついたものです。

おかげで無事合格!メガネを貸してくれたのは、外国の方だったそうです。その節は助かりました。ありがとうございます。

★まさに機転の勝利ですね。



料金所

愛知県春日井市 松田あかり

10年ほど前のこと。私は幼い息子を車に乗せて高速道路を走っていました。料金所でお金を払おうとしたが、財布がありません。

冷や汗をかきながら、「すみません。財布を忘れました」と料金所の方に言うと、その年配の男性は「時々ここを通ってるよね。料金は立て替えておくから、次に通った時に持ってきてくれればいいよ」と言ってくれたのです。救われた気持ちで、何度もお礼を言ってお金を後に取りました。

翌日お金はお返ししましたが、その方は不在で直接お渡しできませんでした。見知らぬ土地での子育て中に、助けてくれた方がいたことを思い出すと、今でも温かい気持ちになります。

★とってもステキな思い出ですね。



バスとおばあさん

兵庫県明石市 小山里美

現在、大学3年生で保育士を目指している娘は、とっても口達者。

先日、娘が乗ったバスにおばあさんが乗ってこられたそうだが、誰も席を譲ろうとはしない。

そこで、前方の席に座っていた娘は「おばあちゃん、ここにおいで。席替わるよ」。すると、おばあさんが「動いてるから、そこまで行かれへんわ」。「迎えに行くから」と娘。両手でおばあさんの手をとって、席にお連れしたら、すごく喜んでくれたと…。

1年半前に亡くなった主人も、きつと微笑んでいるはず。お父さん、私たちの子育ては間違っていないかな。

★ご主人も天国で鼻高々でしょう!



2歳半の孫

鳥根県出雲市 山根喜代子

私の姑は91歳。自分ひとりではなかなか歩くことがおぼつかないため、今は介護用の歩行器のお世話になって、家の中を歩いています。

ある日、2歳半の孫が歩行器の片方を持ち、91歳の姑を誘導しながら、ゆっくり台所まで引っぱりついていくではありませんか!

これまでそんなことを教えたり話したりしたわけではないのに、ちゃんと歩行器の使い方を観察していたみたいで、自分より歩くのが速者ではない祖母の役に立ちたいという、孫のやさしい気持ちに感動した次第です。

私も見習わなければ…ネ。

★お孫さんのやさしい気持ちに拍手!



母の言葉

岩手県栗石町 高橋美代子

もうすぐ古希を迎える私ですが、小学生の頃、裁縫をしている母のそばにいと、いつも「他人にいぐ(良く)していれば、他人からもいぐされるんだぞ」と言われました。

91歳で亡くなった母の年齢に近づいてきたこの頃、その言葉が実感として身にしみています。

先日、「昔、あなたのお母さんから親切にしていたでいて、とっても嬉しかったわ」と言われて、お茶をぐちそうになりました。私も母のことをほめられて嬉しくなり、母がいつも言っていたことは本当だなあと思いました。

常に「他人には親切に」と心がけているつもりですが、なかなか難しいことだと感じています。

★思い出の言葉、いつまでも大切に。



シーサー

沖縄県那覇市 島袋昌美

3歳の孫が今年も夏休みにやって来た。さまざまなおもちゃに興味津々の彼は、各家庭の門に鎮座する「シーサー」が気に入ったようだった。

後日、娘から報告があった。保育園でのなぞなぞで、「公園で一本足で立っていて、ギタンバタンするものなあに?」の問いに、「シーソー!」と答えたお友だち。

そこで、すかさず孫もひと言。「あつ、知ってる! それ沖縄にあるやつだよね」。真剣に答える孫に先生も失笑したとか。

音は似ているけれど…。わかってなかったのか…。でも、なんだかとてもかわいいなあと思ってしまうた、孫バカのババなのでした。

★そんな思い出がまたかわいい☆



燈々無尽

思い切ってやってみよ

自分の運命は、自分で賭けてみるしかありません。

どうしたら

楽しい人生が

おくれるのでしょうか?

一人でもよく生きていける解決にはなりません。

思い切って

世の中にとびこんで

ゆくことです。

鈴木清一



お酒ね

暑い季節は冷たい飲み物が欲しくなりませんが、目の見えない人はどうやってジュースとアルコールを選んでいるかご存知ですか? 実は、缶ビールや缶入りのお酒には点字が付いているんです。視覚に障がいのある人でも、パッケージにエンボス(凸凹模様)や切り欠き、点字があれば触ってわかりやすいですね。



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。

☎ 06-6821-5270 🌐 <http://www.ainowa.jp/>

あなたのお便りや写真をお寄せください。

みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。



お姉ちゃん
こっちゃん

大分市
江藤光雄さん

お兄ちゃん
今度はわたしが
押してあげる

岡山県井原市
原田憲枝さん



町の人気者
クーちゃん

愛媛県内子町
大本悦子さん

仙台市宮城野区
大沼多美子さん



海賊船の
孫たち

三人三様
三兄弟の
三段重ね



埼玉県草加市
松本弘美さん

みてもらおう!

見てうれし、見せてうれし。
あなたのお気に入りの1枚を送ってください。

No.419からのバックナンバーが
下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



ダスキンがあなたにお届けする
便利でおトクな
使える情報サイトです。

アクセスはコチラから

dduet

<https://dduet.duskin.jp/>



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp